

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2021年		授業計画	
時期	1年B巡	単元	実習	教科名	エンジン2（エンジン分解組立）
科目	自動車整備	教科書等 持参品	3級/2級ガソリン自動車	発行日	2021.4.1
総時限	26時限		3級/2級二輪自動車		教科担当
必要時限	24時限		基礎自動車整備作業		
			日産4級整備テキスト エンジン編		
指導教員の実務経験					
			該当	非該当	
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの分解、組立、点検等について指導する。					
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
<ul style="list-style-type: none"> ①エンジンの詳細の構成、部品名称、構造、作動を理解する。 ②エンジンの潤滑装置、冷却装置の構造、機能について理解する。 ③エンジンのOH後、始動に必要な点検、調整を理解する。 ④二輪車のエンジン着脱、分解、組立、始動を通じ、二輪車の構造、機能、整備を理解する。 					
授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）					
<ul style="list-style-type: none"> ①エンジンの詳細の構成、部品名称、構造、作動が理解出来るようになる。 ②エンジンの潤滑装置、冷却装置の構造、機能について理解出来るようになる。 ③正しく計測ができ、部品交換の判定が出来るようになる。 ④エンジンの分解、組立、点検方法を習熟し、安全に出来るようになる。 ⑤エンジン組み立て完了後の点検が出来るようになる。 ⑥二輪車の構造、機能が理解出来るようになる。 					
学習評価（期末試験での主な試験項目）					
1) 履修試験での学習評価 実技試験20点、筆記試験80点にて総合評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。					
2) 出題試験項目					
1. 実技試験			2. 筆記試験		
① EX13エンジンの出来栄え検査。			① 潤滑装置 部品名称、構造、機能。		
② FTR250(二輪車)の出来栄え検査。			② 冷却装置 部品名称、構造、機能、冷却水。		
準備学習					
事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。 実習ノートをもとに、各装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。					

